

13,14日に都立東大和南公園で4年ぶり開催 **ニコナン** 戦争の傷跡残す「旧日立航空機株変電所」も特別公開

東大和市

を代表するイベント

うまがんベもも祭

課題食材活用し創作メニュー競い合おう！メニューコンテスト

おしいからとろろおしよりにかかれももをたし

Father's Day

おやしの会

おもひて

コロリトウフ

中レストランIDA

クランピング選手権

日刊スポーツ

おかしな大会

おかしな大会

戦争の傷跡残す「旧日立航空機株変電所」も特別公開

外壁に多数の弾痕。平和の尊さを感ずる

合衆国に生まれた住み心地よく子育てしやすいまち

おかしな大会

おやしの会

カレーキング

おかしな大会

おかしな大会

おかしな大会

おかしな大会

おかしな大会

おかしな大会

おかしな大会

おかしな大会

おかしな大会

おかしな大会

おかしな大会

おかしな大会

東大和市駅徒歩1分

家族で楽しい

ASOBIG

Duplo LX

100枚/分の 高速印刷

連続耐久 1200万ページ

モノクロ 0.4円/枚 カラー 1.5円/枚の 超ランニングコスト

加速する インクジェット

東大和市役所 東大和市 東大和市役所 東大和市

Tel: 042-670-6550

東大和のまちおこし

東大和・武蔵村山交通安全協会
東大和支部員募集

ASA大和北部
東大和市基本2-101-6
042-561-3039

ASA大和南部
東大和市立野3-572-42
042-563-7719

1 イタリア食堂 フェリーチェ
2 輝整骨院・整体院
3 生そば 大むら
4 ワイルド個別指導塾
5 タイヤ館 玉川上水
6 極真空手 友心会 桜街道筋前道場
7 シャニーハウスメイク
8 猫っ子動物病院
9 サイクルショップ サイトウ
10 株式会社 双 隣
11 山崎米店芋窪本店
12 まーラーメン 大冬樹
13 うまバスケッス販売店 | 2024.3.30 閉店
14 ダスキン北多摩
15 有限会社 スキモト米店
16 喫茶 どんぼ
17 カギと防犯の専門店 AI 回ソフ
18 美容室 OPTION
19 トライプラス 東大和校
20 居酒屋レストランヴォカール
21 既婚の調剤
22 島田税務会計事務所
23 アカサカ

東大和・武蔵村山交通安全協会
東大和支部員募集

IntalBeautySalon 1-3
パーツ＆カラーサロン

東大和のまちおこし

東京 ゆったり日和 東やまと

東大和どっとネットの広告

なに食べるべえ

ネット時代のまちおこし

東大和どっとネット
hiqashiyamato.net

だべりサロン

第1会場	第2会場	第3会場
第4会場	第5会場	第6会場
第7会場	第8会場	第9会場
第10会場	第11会場	第12会場
第13会場	第14会場	第15会場
第16会場	第17会場	第18会場
第19会場	第20会場	第21会場
第22会場	第23会場	第24会場

開催時間/高麗川面 9:30 - 11:30
参加費 100円

あの日は繰り返さない！



2023年2月17日変電所ライトアップ
※2月17日は日立航空機株式会社が1945年(昭和20年)に始めて空襲を受けた日です。



西の原爆ドーム 東の変電所

戦争の悲惨さ、平和への思いを伝える

旧日立航空機株式会社変電所は、
東大和市指定文化財です。



変電所ふるさと納税

変電所についての問合せ先

東大和市立郷土博物館
電話 042-567-4800

ふるさと納税(寄附)の方法についての問合せ先

東大和市総務部総務管財課用地管財係
電話 042-563-2111(内線1341)



ふるさとチョイス

日刊スポーツ × 大和ものがたり



「日本の食の振興を願う。子どもと大人が一緒に食べる習慣がほしい」と話す中野孝

「主体的に学ぶ力を」
 公教育のあり方が変わってきまして、小中学校で総合的な学習の時間を中心に、生徒が主体的に社会を学ぶ機会も増えてきています。一貫学習のスタイルも広がり、それぞれの生徒に合った学びへ、教員も個性を求められるようになってきています。東大和市教育委員会委員長の小野孝一さん（三ツ岡南立第二中学校校長）に話を聞きました。

「この数年で学習のあり方も変わってきまして、公教育のあり方が変わってきまして、小中学校で総合的な学習の時間を中心に、生徒が主体的に社会を学ぶ機会も増えてきています。一貫学習のスタイルも広がり、それぞれの生徒に合った学びへ、教員も個性を求められるようになってきています。東大和市教育委員会委員長の小野孝一さん（三ツ岡南立第二中学校校長）に話を聞きました。」

「主体的に学ぶ力を」
 公教育のあり方が変わってきまして、小中学校で総合的な学習の時間を中心に、生徒が主体的に社会を学ぶ機会も増えてきています。一貫学習のスタイルも広がり、それぞれの生徒に合った学びへ、教員も個性を求められるようになってきています。東大和市教育委員会委員長の小野孝一さん（三ツ岡南立第二中学校校長）に話を聞きました。」

「主体的に学ぶ力を」
 公教育のあり方が変わってきまして、小中学校で総合的な学習の時間を中心に、生徒が主体的に社会を学ぶ機会も増えてきています。一貫学習のスタイルも広がり、それぞれの生徒に合った学びへ、教員も個性を求められるようになってきています。東大和市教育委員会委員長の小野孝一さん（三ツ岡南立第二中学校校長）に話を聞きました。」

「主体的に学ぶ力を」
 公教育のあり方が変わってきまして、小中学校で総合的な学習の時間を中心に、生徒が主体的に社会を学ぶ機会も増えてきています。一貫学習のスタイルも広がり、それぞれの生徒に合った学びへ、教員も個性を求められるようになってきています。東大和市教育委員会委員長の小野孝一さん（三ツ岡南立第二中学校校長）に話を聞きました。」

「主体的に学ぶ力を」
 公教育のあり方が変わってきまして、小中学校で総合的な学習の時間を中心に、生徒が主体的に社会を学ぶ機会も増えてきています。一貫学習のスタイルも広がり、それぞれの生徒に合った学びへ、教員も個性を求められるようになってきています。東大和市教育委員会委員長の小野孝一さん（三ツ岡南立第二中学校校長）に話を聞きました。」

未来と地域をつなぐ新たな時代の学校づくり

「JICA 国際協力中学生・高校生エッセイコンテスト 2022」



今年2月に、JICA 国際協力中学生・高校生エッセイコンテスト2022（国際協力機構主催）の最優秀賞3名が発表されました。東大和市からは、三ツ岡南立第二中学校の中学生2名、高校生1名が受賞しました。この受賞について、校長の小野孝一さんに話を聞きました。

「国際協力機構主催の『JICA 国際協力中学生・高校生エッセイコンテスト2022』の最優秀賞3名が発表されました。東大和市からは、三ツ岡南立第二中学校の中学生2名、高校生1名が受賞しました。この受賞について、校長の小野孝一さんに話を聞きました。」

「国際協力機構主催の『JICA 国際協力中学生・高校生エッセイコンテスト2022』の最優秀賞3名が発表されました。東大和市からは、三ツ岡南立第二中学校の中学生2名、高校生1名が受賞しました。この受賞について、校長の小野孝一さんに話を聞きました。」

「国際協力機構主催の『JICA 国際協力中学生・高校生エッセイコンテスト2022』の最優秀賞3名が発表されました。東大和市からは、三ツ岡南立第二中学校の中学生2名、高校生1名が受賞しました。この受賞について、校長の小野孝一さんに話を聞きました。」

「国際協力機構主催の『JICA 国際協力中学生・高校生エッセイコンテスト2022』の最優秀賞3名が発表されました。東大和市からは、三ツ岡南立第二中学校の中学生2名、高校生1名が受賞しました。この受賞について、校長の小野孝一さんに話を聞きました。」

「国際協力機構主催の『JICA 国際協力中学生・高校生エッセイコンテスト2022』の最優秀賞3名が発表されました。東大和市からは、三ツ岡南立第二中学校の中学生2名、高校生1名が受賞しました。この受賞について、校長の小野孝一さんに話を聞きました。」

「国際協力機構主催の『JICA 国際協力中学生・高校生エッセイコンテスト2022』の最優秀賞3名が発表されました。東大和市からは、三ツ岡南立第二中学校の中学生2名、高校生1名が受賞しました。この受賞について、校長の小野孝一さんに話を聞きました。」

「国際協力機構主催の『JICA 国際協力中学生・高校生エッセイコンテスト2022』の最優秀賞3名が発表されました。東大和市からは、三ツ岡南立第二中学校の中学生2名、高校生1名が受賞しました。この受賞について、校長の小野孝一さんに話を聞きました。」

「国際協力機構主催の『JICA 国際協力中学生・高校生エッセイコンテスト2022』の最優秀賞3名が発表されました。東大和市からは、三ツ岡南立第二中学校の中学生2名、高校生1名が受賞しました。この受賞について、校長の小野孝一さんに話を聞きました。」

「国際協力機構主催の『JICA 国際協力中学生・高校生エッセイコンテスト2022』の最優秀賞3名が発表されました。東大和市からは、三ツ岡南立第二中学校の中学生2名、高校生1名が受賞しました。この受賞について、校長の小野孝一さんに話を聞きました。」

「国際協力機構主催の『JICA 国際協力中学生・高校生エッセイコンテスト2022』の最優秀賞3名が発表されました。東大和市からは、三ツ岡南立第二中学校の中学生2名、高校生1名が受賞しました。この受賞について、校長の小野孝一さんに話を聞きました。」

「3つの強み」ですべての子供の可能性を引き出す教育の推進

新時代の学びのための基盤づくり ～文理分析からの脱却、デジタル人材の育成、グローバル教育、海外留学、教育DX～

強み1 「総合的な学習の時間」の活用推進	強み2 オンライン英会話A1による個別英語学習	強み3 コミュニティ・スクール推進
<p>確率的な学びの充実</p> <p>デジタル化の進展により、授業・学習のあり方も変化しています。主体的に学ぶことで、自ら学ぶ姿勢を身に付け、課題を自ら解決できるよう育てています。</p>	<p>一人1台端末活用による英語の充実</p> <p>本市の中学校3年生における英語3級以上の合格者は、国が定めた割合を下回っています。小中学校における外国語指導員（FTE）の配置と併せて、中学校において、海外外国人とのマンツーマンオンライン英会話学習を導入し、子どもたちが日常的に英語に触れ、「聞く」「読む」「話す」「書く」といった英語4技能をバランスよく伸ばし、英語学習の習慣化を目指します。</p>	<p>社会に開かれた教育の推進</p> <p>地域社会の人とつながり、ともに育ち合う学びの機会を、学校内外におけるゼミナール等の社会体験活動や自然体験活動、スポーツ・文化芸術活動、食文化交流や地域の行事への参加など、オンラインでは体験しにくいリアルな体験活動の充実を図っています。</p>

東大和市立中5校の取り組み紹介

<p>一中</p> <p>令和4年3月31日に第1中学校体育館にて、東大和市立中5校の代表校として「平和」をテーマにしたエッセイコンテストが行われ、各校の取り組みが紹介されました。</p>	<p>二中</p> <p>令和5年3月14日に第2中学校体育館にて総合的な学習の時間の一環として「平和」をテーマにしたエッセイコンテストが行われ、各校の取り組みが紹介されました。</p>	<p>三中</p> <p>令和5年2月2日に、体育館で、平和のまちづくり推進委員会、アメリカ、ドイツ、カナダなど、世界から来られた子どもたちと、世界平和をテーマにしたエッセイコンテストが行われ、各校の取り組みが紹介されました。</p>
<p>四中</p> <p>令和5年1月24日、生徒が主体的に学び、地域とつながる取り組みとして、平和のまちづくり推進委員会、アメリカ、ドイツ、カナダなど、世界から来られた子どもたちと、世界平和をテーマにしたエッセイコンテストが行われ、各校の取り組みが紹介されました。</p>	<p>五中</p> <p>令和5年4月11日、生徒が主体的に学び、地域とつながる取り組みとして、平和のまちづくり推進委員会、アメリカ、ドイツ、カナダなど、世界から来られた子どもたちと、世界平和をテーマにしたエッセイコンテストが行われ、各校の取り組みが紹介されました。</p>	